

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-247797

(43)公開日 平成10年(1998) 9月14日

(51)Int.Cl.⁶
H 0 5 K 13/02
B 2 3 P 19/00 3 0 1
B 6 5 H 23/182
41/00

F I
H 0 5 K 13/02 B
B 2 3 P 19/00 3 0 1 L
B 6 5 H 23/182 Z
41/00 A

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平9-50309

(22)出願日 平成9年(1997) 3月5日

(71)出願人 000001225

株式会社コパル

東京都板橋区志村 2丁目18番10号

(72)発明者 加藤 栄一

東京都板橋区志村 2丁目16番20号 株式会
社コパル内

(72)発明者 新田 洋

東京都板橋区志村 2丁目16番20号 株式会
社コパル内

(74)代理人 弁理士 長谷川 芳樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 部品供給装置

(57)【要約】

【課題】 駆動力の伝達時に衝撃が生じ、各機構の動作タイミングが不確実になることがあった。

【解決手段】 複数のチップ部品Aが装填されたキャリヤテープ21を、チップ部品Aをピックアップするための吸引ノズルDに向けて送り出す部品供給装置1において、キャリヤテープ21を収容すると共にこのキャリヤテープ21を吸引ノズルDに向けて案内するフレーム本体10と、フレーム本体10のキャリヤテープ21の送り出し先に設けられて、キャリヤテープ21に装填された先頭のチップ部品Aをフレーム本体10から露出させるシャッタ部30と、フレーム本体10に設けられて、吸引ノズルDのシャッタ部30への接近を検出するノズル接近センサ40とを備え、シャッタ部30は、ノズル接近センサ40からの検出信号に基づいて駆動していることを特徴とする。



